



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和6年(2024年)4月30日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

学年に相応しい姿

校長 内田 辰彦

今年度は102名の1年生が入学してきました。入学式の翌日からの4日間は「いってらっしゃいの週」として、保護者の方、上級生、地域の方、学校の教員で登下校の安全な環境をつくる取組を行ったスタートの日でもありました。8日は大雨で登校が大変な様子でしたが翌日からは穏やかな天気となり、桜の花吹雪の下で登校することができました。「いってらっしゃいの週」の取組は登校班をやめる代わりに、構築すべき安全体制づくりの一環として、今年度から始めた取組です。私たち教員は、その週だけ勤務時間の変更をして30分ほど早く勤務を開始して、子どもたちの登校の様子や通学路の状況を把握するようにしました。また、通年で見守り続けてくださる通学路見守りボランティアの方や保護者の方と、登校時の子どもの様子や指導が必要な場所のことなどを直接お話ししながら共有するように心がけました。地域の方や保護者の方からは学校と一体となった取組になったとして評価していただきました。2学期、3学期の始まりにも「いってらっしゃいの週」の取組を行っていきます。

102名の1年生は22日からは給食が始まり4時間授業となって、いよいよ本格的な学校生活となっています。そのサポートとして大活躍しているのが6年生です。入学式の日から6年生は1年生を教室に連れて行ったり、トイレに連れて行ったりしてサポートしています。4月中はその支援を継続させていました。朝は昇降口のところにいて1年生を出迎えます。元気にあいさつを交わしたり笑顔で出迎えたりしていました。中にはまだ小学校に慣れず不安に感じている子もいましたが、6年生が優しく声をかけると泣き止んだり、手を繋いだりして教室に行くことができました。保護者の方からも6年生はすごい、と評価していただきました。休み時間にも外や室内で一緒に遊んでいました。室内・屋外ともに安全に楽しく過ごすことができました。給食時間の終わりごろにも教室に来て、給食の片付けを手伝ったり、掃除の仕方を教えたりしていました。1年生の担任からも、6年生が活躍してとても助かる、と感謝の言葉が伝えられています。

23日行った1年生を迎える会では、2年生が1年生一人一人にお祝いのメダルを作ってプレゼントしました。また、2年生から6年生全員で校歌を歌って披露しました。400名以上の歌声で入学のお祝いをすることができました。

新学期が始まり、1年生は1年生らしく、2年生以上は進級したそれぞれの学年に相応しい姿で学校生活を始めています。そしてスタートした今年の学年に期待と希望をもっている様子がとても伝わってきます。その全校児童525名を、保護者の方や地域の方と力を合わせて支え育てていきたいと思っています。

校庭樹木の移転先の紹介

先日、くにたちみらいの杜プロジェクトの方からご連絡があり、校庭樹木の移転先を教えてくださいました。3月から4月にかけて移転を行い、無事に移植ができたということです。新しい場所でも二小の子どもたちが慣れ親しんだ樹木が元気に育ち、また新しい出会いができることを期待しています。

3/9 モーク阿佐ヶ谷 様…建設中のギャラリー&カフェの中庭に

3/10 MAHOLA稲穂山 様…森のホールの駐車場へ

3/23 大井うさぎ幼稚園 様 3/24 洗足うさぎ幼稚園 様 市原うさぎ幼稚園 様

3/24 中伊豆セキデンファーム 様…風の通り道、水脈の要に植え付け

4/14 歓喜の郷 様…古民家に馴染んでいます

4/14 武蔵野学園 様…校内の2000本の仲間たちと共に

そのほかに、長野県の大日向小学校にも移植が決まりました。